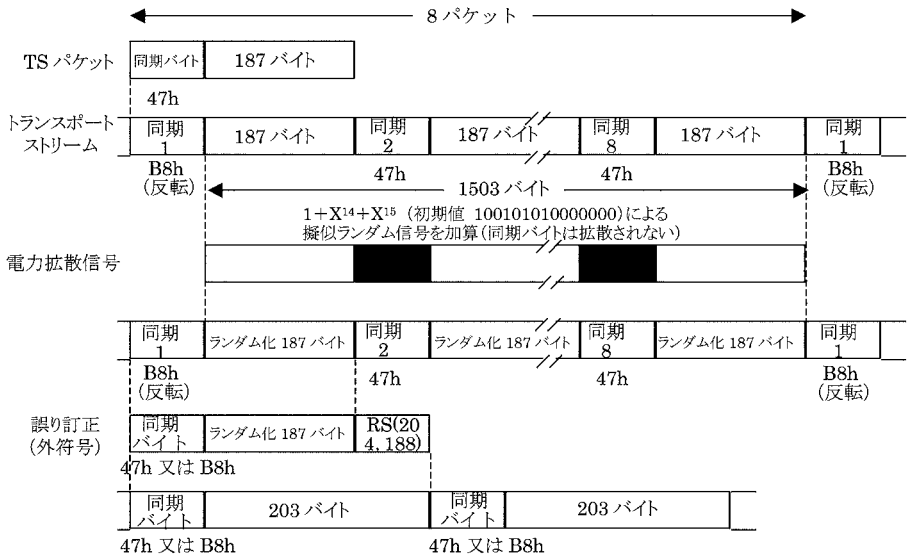
別表第五十三号　伝送信号の構成（第71条第１項関係）

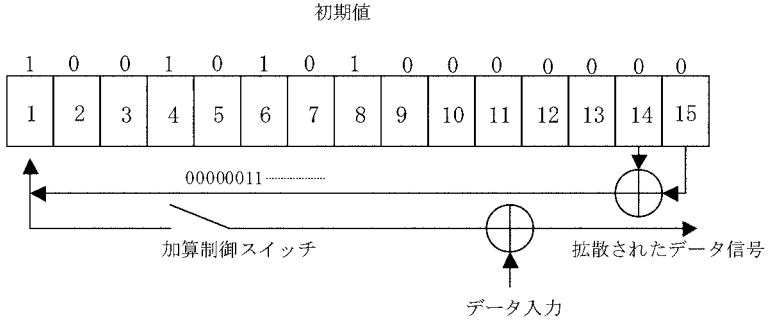


注１　数値の横のｈはその数値が16進数表記であることを示す。

２　電力の拡散信号は別記１、インターリーブは別記２によるものとする。

別記１　電力拡散信号

８パケットごとに反転された同期バイト（１バイトを８ビットとする。）の直後から、次の反転同期バイト直前のデータバイトまでの1503（188×８－１）バイトを１周期とし、次に示す図のように$X^{15}+X^{14}+1$（15次M系列）により発生する擬似乱数符号系列を加算する。ただし、周期内の同期バイトには加算を行わない。この間、擬似乱数符号系列の加算は行わないが、擬似乱数符号系列の発生は継続するものとする。



フレーム同期信号：Ｂ８（16進数表記）

データ入力（最上位ビットから）：｜10111000｜XXXXXXXX……｜

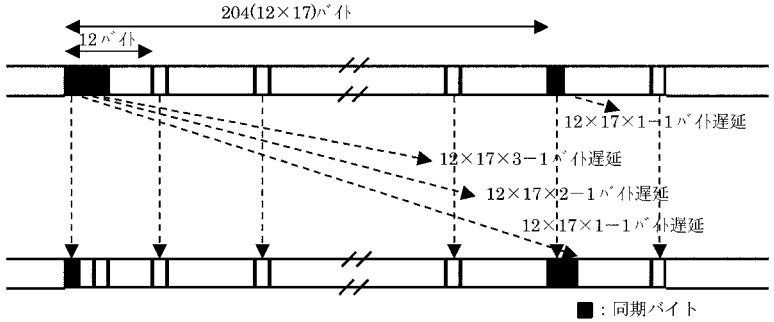
擬似ランダム信号系列　　：｜　　｜00000011……｜

⊕：排他的論理和の演算素子

別記２　インターリーブ

インターリーブはバイト単位で周期12の畳込み方式とし、リードソロモン符号を付加したＴＳパケットにおいて、同期バイトの位置を０番としたとき、ｎ番目の位置にあるバイトの遅延量Ｄは次式により与えられる。

Ｄ＝12×17×Ｉ（Ｉはｎを12で除したときの剰余で０から11までの整数）



別表第五十四号　狭帯域伝送デジタル放送の誤り訂正方式（第71条第２項関係）

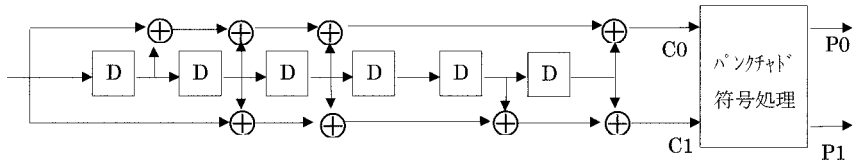
１　外符号は次式で示す短縮化リードソロモン（204，188）とする。短縮化リードソロモン（204，188）符号は、リードソロモン（255，239）符号において、入力データバイトの前に51バイトの「00ｈ」を付加し、符号化後に先頭51バイトを除去することによって生成し、反転／非反転にかかわらず同期バイトにも適用する。

符号化生成多項式：$g(x)=(x+\lambda^0)(x+\lambda^1)\cdots(x+\lambda^{15})$、$(\lambda=02h)$

体生成多項式　　：$p(x)=x^8+x^4+x^3+x^2+1$

注　数値の後のｈは、その数値が16進数表記であることを示す。

２　内符号は次式に示すような畳込み符号方式及びパンクチャド符号方式とする。



注１　Ⓓは１ビット遅延素子を表す。

２　⊕は、排他的論理和の演算素子を表す。

３　伝送信号の最上位ビットから入力される。

４　パンクチャド符号の詳細は、別表第四十九号３注４に同じとする。